

小児遠隔画像診断サービス

PAMIC

PAMIC遠隔画像診断システムの特徴

PAMIC(パミック)の遠隔画像診断サービスシステムは、広域のPAMIC VPN^{*1} ネットワーク網で接続された依頼施設と画像診断センター、及びデータを管理するセンターサーバで構成されています。



単純X線の二次読影サービス！ 開業医様の画像診断のバックアップ。

PAMICのコンセプトでもある“単純X線の二次読影サービス”により、開業医様等の画像診断不安の解消にも取り組んでいます。

小児画像診断！ こどもの画像診断はお任せ下さい。

詳しくは、下記遠隔画像診断スタッフをご参照下さい。

小児画像診断のネットワーク化で地域連携を目指します！



*1 Virtual Private Network の略。本システムでは、IP-sec 3-DES というスベックのVPNセキュリティレベルで運用しております。

遠隔画像診断スタッフ

PAMICの画像診断は、小児放射線医学の分野で長年活躍されてこられた藤岡 睦久先生が中心となり対応しております。



藤岡 睦久

- ・埼玉放射線科クリニック院長
- ・獨協医科大学名誉教授
- ・米国小児放射線学会名誉会員
- ・American Journal Roentgenology (米国放射線学会機関誌)日本語版総監修者
- ・前獨協医科大学放射線医学講座主任教授
- ・前日本小児放射線学会理事長
- ・前アジア・オセアニア小児放射線学会理事長



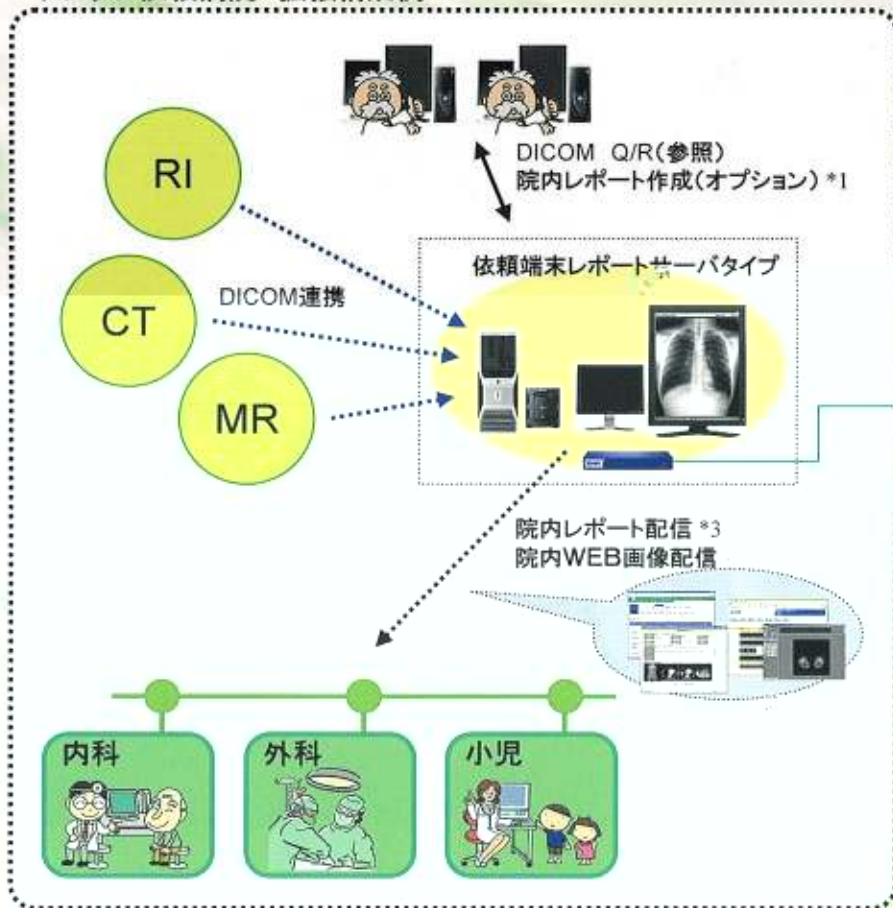
小田切 邦雄

- ・横浜青葉台クリニック院長
- ・昭和大学医学部客員教授
- ・横浜市立大学医学部非常勤講師
- ・東邦大学医学部非常勤講師
- ・国立成育医療センター客員研究員
- ・前日本小児放射線学会会長

テレラジ（遠隔画像診断）依頼病院側システム構成（院内配信機能例）

依頼端末に報告書管理サーバモジュールを追加する事で、作成された画像診断報告書を受信して、院内のレポート管理と院内向けのレポート配信を始める事が可能です。

テレラジ依頼病院 拡張構成例



遠隔画像診断連携機能



画像ファイリング機能

院内レポートサーバ機能

診療科へのレポート配信



私どもは、上記のように付加価値の高いテレラジ端末を目指しております。

遠隔画像診断依頼の場合想定される“安定したDICOM連携機能”をコアに、依頼病院の運用に合わせた基本構成を複数ご用意して予算に応じて選択可能としております。

このように、“遠隔画像診断依頼+α”の付加価値の高いテレラジ端末を目指して開発しています。

豊富な実績

高い付加価値

将来拡張性

*1 レポート作成クライアントソフトを追加する事で、院内レポート作成と依頼によるレポート作成をシームレスに運用可能です。

*2 レポートの所見データとPDFファイルは、転送されて院内のレポートサーバに保存されます。

*3 院内WEB配信機能(画像・レポート)は、標準で5端末までの配信が可能です。5端末以上の場合は別途調整が必要ですので担当者にご確認下さい。

* 上記の構成に於けるハードウェア・接続構成については、説明を目的とした凡例です。実際の導入機器と異なる場合がありますので予めご了承下さい。

システム運用・営業・サポート

株式会社 エム・エス・アイ

〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6-101

電話：042-401-8851 Fax：042-401-8858

E-mail：msi-inc@msi-inc.jp

※ ご要望に応じて、豊富なソリューションで院内・広域システムをコンサルティング致します。

院内のフィルムレス化や報告書の院内配信等、RIS・PACSシステム、その他広域ネットワークを活用した病診連携・検査紹介サービスとの豊富な周辺システムをご用意可能ですので、お気軽にご相談下さい。